

令和6年度多摩市子どもみらい会議 提案一覧

子どもたちから
多摩市全体へのメッセージ

多摩市民一人一人がまちづくりに参加しているという意識をもって行動に移そう。

●各学校および中学校区の提案

中学校区	学校	各校の提案	中学校区の提案
多摩中学校区	多摩中学校	・環境を守りつつ再生可能エネルギーを増やすために小型・中型の風力発電機を置く。 ・多摩市の経済成長や地域との関わりを増やすために、学校で作ったはちみつをネットやコミュニティセンターで販売する。	地域の人たちと共に協力したりより良いものを作るために協力したりして、省エネについて広めたりして地形を生かした発電を行う。
	多摩第一小学校	・再エネと省エネを組み合わせる。 ・再生可能エネルギーで走るバスの運行 ・太陽光パネルの設置 ・振動発電(聖蹟桜ヶ丘駅前) ・LED電気の利用	
	東寺方小学校	・電気をなるべく使わず夏の体育館を使いたい。 (ブラックカーテンや水力発電を使ったクーラーの活用)	
聖ヶ丘中学校区	聖ヶ丘中学校	・多摩市全体で緊急時の助け合いや市でのつながりを作るために、地域ごとに障がいのある方や高齢者の方々などとの多様な繋がりを日常的に強める取り組みをする。(例 プラスバンドを通して交流、地域清掃、マラソン大会、挨拶運動)	地域の特色を生かした発電 各地域内での日常的な交流 (スタンプラリーや挨拶運動など) ↑ 市民の安心安全が続く街を目指す (緊急時に強く持続的な環境保全)
	連光寺小学校	・再生可能エネルギー100%を目指すために、まち発電を行う。	
	聖ヶ丘小学校	・過ごしやすいまちをつくるために、安心安全なまちづくりに取り組む。例として、障がい者の理解を深める取り組み、(交通)事故に対する意識を高める活動、継続的なスタンプラリーイベントなど。	
鶴牧中学校区	鶴牧中学校	・多摩市では高齢化が進んでいるため、様々な世代の方が関わり合えるようなイベントを行う。例えば、昔遊びを通して子どもと高齢者の関わりなど。	多摩市の課題は、高齢化が進んでいること、世代間の交流が少ないこと、食品ロスが多いことなので、これらを解決するために、多摩市が行う「家族体験農業」というイベントをもっと宣伝していくことを提案します。 農家の方の苦労や食品ロスについてのクイズをしたり、実際に農業の体験を行ったりするイベントです。
	南鶴牧小学校	・食品ロスを減らすために(給食の)食べ残し食材を学校にいる動物のえさにし、環境に配慮する。その取り組みをインターネットで発信したり、楽しめる活動ができるとよい。	
	大松台小学校	・(給食の食べ残しを減らすために、)給食センターで作っているお米の量を減らしてもらう。 ・好き嫌いは個人差があることを考え、楽しく食べたり取り組んだりする工夫があると良い。	